

ANTENNA

第2回全統高2模試

全国127,323名の高2生が参加して実施された第2回全統高2模試の成績結果と学習アドバイスをお届けします。

今回の模試では、夏休みの学習成果の確認と、基本事項の理解度を試すことを目的として出題しました。

『学習の手引き』や本冊子を活用して、誤答箇所を再確認し、成績状況を把握してより効果的な学習を進めてください。今の実力をさらに伸ばすよう、早めに目標を定めて着実に学習を重ねてください。

《次回実施のご案内》

次回全統模試のご案内につきましては、こちらをご確認ください。

www.kawai-juku.ac.jp/zento/

スマートフォンの方はこちら



も く じ

《全統模試見直しシート》	2
《これが今回の模試の結果だ》	
個人成績表の見方	3
・あなたの成績と比較しよう	
総合成績表・科目別成績表	5
・どの設問で差がついたか確認しよう	
教科科目別設問別成績表	6
小問(単位問)別平均点	7
《弱点克服のためにもう一度見直そう》	
学習対策	9
英語	9
数学	9
国語	10
《採点に関する問い合わせについて》	11
《お問い合わせ先一覧》	13

※本冊子の編集内容の無断転載・複製を禁止します。

全統模試 見直しシート

STEP 1

個人成績表「1. 成績概況」を確認し、受験した教科・科目と偏差値を書き込みましょう。

STEP 2

個人成績表「2. 設問別成績」の、あなたと同じ学力レベル層や、第1志望校の一段階上の判定者との成績比較で差がついた設問を確認し、弱点となっている分野を書き込みましょう。

STEP 3

弱点分野を中心に、「学習の手引き」や本冊子の「学習対策」、模試ナビの解説講義動画などを確認し、今回の模試の反省点と、今後の具体的な対策（何を、いつまでにやるのか）を書き込みましょう。

STEP 4

個人成績表「3. 志望校別成績・評価」を参考に、次回の模試の目標得点を書き込みましょう。

STEP 1		STEP 2	STEP 3		STEP 4
教科・科目	偏差値	弱点分野	今回の反省点	今後の対策	次回の目標得点
(例) 英語	52.1	文法・語法	基本的な文法の理解ができていない	次回の模試までに文法集の11～30ページをノートにまとめて復習する	55.0



河合塾 全統模試学習ナビゲーター



模試ナビは、Web上で全統模試の復習や成績確認などができるサービスです

利用料無料



河合塾講師によるわかりやすい解説講義動画が視聴可能！
間違えた問題は必ずチェックして理解を深めよう。



詳しい学習アドバイスやライバルとの差をつける追加問題など、模試ナビだけのコンテンツも多数閲覧できます。

詳しくはこちらから
www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/

個人成績表の見方

各項目について、詳しくは4ページをご確認ください。

1. 成績概況

自分の学力状況や全国での位置づけを確認しましょう

- 各科目の得点や偏差値、順位、平均点などを表示しています。

教科・科目	あなたの得点	偏差値	学力レベル	平均点	順位(人中)	平均点	順位(全国偏差値による)	偏差値	平均点	順位(全国偏差値による)
英語 英語	129 / 200	70.0	S	69.0	4893 / 144624	68.8	247 / 2859	74.1	66.0	7 / 284
総合	123 / 200	64.2	A	78.2	11646 / 136281	78.6	555 / 2859	58.9	87.5	59 / 283
数学 必須問題	39 / 50	63.3	A	64.2	12200 / 136281	64.3	816 / 2859	55.4	71.4	90 / 283
選択問題	34 / 50	71.3	S	14.0	4400 / 135038	14.0	101 / 2815	67.0	16.2	9 / 281

全統高2模試 個人成績表 第1面【秘】

教科・科目	あなたの得点	偏差値	学力レベル	平均点	順位(人中)	平均点	順位(全国偏差値による)	偏差値	平均点	順位(全国偏差値による)
英語 英語	129 / 200	70.0	S	69.0	4893 / 144624	68.8	247 / 2859	74.1	66.0	7 / 284
総合	123 / 200	64.2	A	78.2	11646 / 136281	78.6	555 / 2859	58.9	87.5	59 / 283
数学 必須問題	39 / 50	63.3	A	64.2	12200 / 136281	64.3	816 / 2859	55.4	71.4	90 / 283
選択問題	34 / 50	71.3	S	14.0	4400 / 135038	14.0	101 / 2815	67.0	16.2	9 / 281

全統高2模試 個人成績表 第2面【秘】

個人成績表の見方については ANTEENNA(成績統計資料)をご覧ください。

【志望校別評価の意味】

A: この調子で頑張れば合格圏内
 B: もうひとふんばりで合格圏内
 C: これからの努力次第、頑張りを要しましょう
 D: まだまだ努力が必要、頑張りましょう
 E: 志望大学に向けて、まず基本事項の総復習を行いましょう
 H: 教科不足による国立大参考評価

2. 設問別成績

分野ごとの成績や、どの分野でライバルと差が出たのかを確認しましょう

各科目の設問別の成績や、成績を基にした学習アドバイスを表示しています。

あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均点とあなたの得点を比較して、最も良かった設問に○、悪かった設問に▲を表示しています。

第1志望について、あなたの評価より一段階上の判定者との成績比較を表示しています。

発音の習得は、英文を読む時に音読することから始めます。発音記号も参照がらずに覚え

3. 志望校別成績・評価

志望校までの距離やライバルの中での位置づけを確認しましょう

- 志望大学・学部・学科の総志望者の中での、あなたの位置づけを示しています。
- 評価では、学習到達度の度合いを下の5段階で表示しています。

A: この調子で頑張れば合格圏内 D: まだまだ努力が必要、頑張りましょう
 B: もうひとふんばりで合格圏内 E: 志望大学へ向けて、まず基本事項の総復習を行いましょう
 C: これからの努力次第、頑張りを克服しましょう H: 教科不足による国立大参考評価

5 学力要素別成績

学力要素区分	あなたの得点率 (%)	全国平均得点率 (%)	校内平均得点率 (%)	平均偏差値	偏差値の差 (%)	あなたと同じ学力レベル層との比較
英語 知識・技能	61.7	36.6	31.4	54.7	7.0	知識・技能 ▲
英語 思考力・判断力	62.6	40.3	32.5	65.2	-2.6	思考力 ▲
英語 表現力	75.0	46.1	36.8	72.0	3.0	表現力 ▲
数学 知識・技能	52.7	53.9	58.2	56.9	-4.2	知識・技能 ▲
数学 思考力・判断力	78.3	59.9	62.4	63.2	-15.1	思考力 ▲
数学 表現力	100.0	58.4	64.8	59.4	40.6	表現力 ▲
国語 知識・技能	48.0	41.6	38.4	50.0	-2.1	知識・技能 ▲
国語 思考力・判断力	71.8	56.5	55.1	66.6	5.2	思考力 ▲
国語 表現力	39.3	32.3	29.7	39.2	0.1	表現力 ▲

数学については、選択問題を未選択かつ未解答の場合、あなたの得点率(%)のみが表示されます。

5 学力要素別成績 要素の説明

回	偏差値	30	40	50	60	70
1 (5月)	57.1					
2 (8月)	64.2					
3 (月)						

4. 成績推移

学習成果の長期的な推移を確認しましょう

- 本年度の第1~3回全統高2模試・全統記述高2模試の成績推移を表示しています。

5. 学力要素別成績

どの学力要素でライバルとの差が出たのか、自身の弱点を確認しましょう

- 教科別・学力要素別の得点率と、全国や校内の平均得点率を表示しています。
- あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均得点率と、あなたの得点率を比較できるように表示しています。

成績を確認したら、弱分野やライバルと差が出た問題を中心に、しっかりと復習しましょう!

ANTEENNA(成績統計資料)

模試ナビ(河合塾 全統模試学習ナビゲーター) 利用料無料

河合塾講師によるわかりやすい解説動画も視聴可能! 今回の模試で出題された問題を解説しています。模試の弱点を徹底的に復習してください。

河合塾や進研ゼミ(河合塾)の模試結果を閲覧することができます。どこでも、復習のポイントを確認することができます。

次回に向けて...

模試ナビでは、次回の模試の目標設定や、模試受験後の自己採点をすることができます。入力した情報と成績結果との比較もできますので、振り返りや自己分析にも役立ちます。

模試ナビの情報の詳細や登録方法はこちらから!

www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/

河合塾大学入試情報サイトKei-Netでは、すぐに役立つ入試情報・大学情報を提供中!

大学検索システム

学務科や取得可能な資格、希望学部などから大学を探せます!

オープンキャンパス情報

オープンキャンパスで見るべきところや、各大学の開催情報を確認できます!

先輩の声

現役大学生の先輩たちが、学習法やキャンパスライフの様子を紹介しています!

www.keinet.net.jp Webで検索して、すぐアクセス! ケイネット

個人成績表の見方<注釈>

1. 成績概況

■学カレベルの定義は以下の通りです。

S : 偏差値 65.0 以上	D : 偏差値 45.0 ~ 49.9
A : 偏差値 60.0 ~ 64.9	E : 偏差値 40.0 ~ 44.9
B : 偏差値 55.0 ~ 59.9	F : 偏差値 40.0 未満
C : 偏差値 50.0 ~ 54.9	

■総合1は、1型：英数型、2型：英国型、3型：英数国型の各受験型の母集団での位置づけを示します。「偏差値」は、全受験科目の偏差値の平均値です。

■総合2は、文系または理系別の位置づけを示します。理系・文系の区分けは英数国型生は受験届のマークによります。また英数型生は理系、英国型生は文系とします。成績は、理系は英・数、文系は英・国の偏差値の平均値を用い、それぞれの全受験者の中での順位および平均点を表示しています。

■校内成績欄の母集団は、在籍高校です。偏差値は母集団が20名以上の場合のみ表示しています。

※校内順位は全国偏差値をもとに順位づけしています。

2. 設問別成績

■第1志望校の一段階上の判定者との成績比較とは、例えばあなたがC判定であれば、B判定者の平均点との比較になります（A判定の場合はA判定者の平均点との比較になります）。母集団は国公立大は出願予定者、私立大は総志望者です。一段階上の判定者が一人もいない場合は表示されません。

3. 志望校別成績・評価

■「学部・学科内の順位」では、志望大学・学部・学科の総志望者の中での、あなたの位置づけを示します。

■「評価偏差値」

国公立大については、英・数・国の3教科の偏差値の平均値を使用しています。

ただし、3教科受験していない場合でも、2教科を受験していれば、参考として「H」を付して評価を行います。ただし、順位は表示されません。

私立大・短期大については、学科内容から文・理分けを行い、理系は英・数、文系は英・国の偏差値の平均値を使用します。

ただし、上記の教科を受験していない場合でも、2教科を受験していれば、参考として評価を行います。

※1教科しか受験していない場合は、評価は行わず順位も表示されません。

■「評価」では、志望大学に合格するために必要な学力がどのくらい身につけているのかの、学習到達度の度合いの「評価」を、以下の5段階で表示しています。

A : この調子で頑張れば合格圏内
B : もうひとふんばりで合格圏内
C : これからの努力次第、弱点を克服しましょう
D : まだまだ努力が必要、頑張りましょう
E : 志望大学へ向けて、まずは基本事項の総復習を行きましょう
H : 教科不足による国公立大参考評価

詳しくはこちらの該当模試のページからご確認ください。
www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/



4. 成績推移

■本年度の第1～3回全統高2模試・全統記述高2模試の各教科・英数国の総合成績の偏差値を棒グラフで表示しています。学力伸長度・学習成果の長期的な変化を確認できます。今後の学習対策に役立ててください。

5. 学力要素別成績

■今回の模試で出題された各問題が主にどんな学力を問うているのかを、学力を「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」の3要素に分類し学力要素ごとの成績（得点率）を表示しています。選択問題が出題されている場合は、選択パターンごとに集計しています。

◆総合成績表 受験者総数 127,323名

英数（理系）、英国（文系）は、文理別の全受験者を母集団としています。

	配点	平均点	標準偏差	平均偏差値	最高点	最低点	人数
英数型	400	160.7	-----	48.2	376	17	2035
英国型	400	144.8	-----	46.9	322	0	5045
英数国型	600	253.4	-----	50.1	551	0	119979
英数	400	190.8	-----	52.1	394	0	68507
英国	400	159.1	-----	49.3	369	0	58552

※全国の受験者の中での位置を教科・科目別／志望別に確認できる「教科科目別成績順位表」「受験型別総合偏差値順位表」や、選択した志望校以外の大学・学部・学科の二次試験・一般試験の合格可能性が確認できる「合格可能性評価基準一覧」を河合塾ホームページに掲載しています。
www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/

スマートフォンの方は
こちら



◆科目別成績表

この模試に何人参加し、平均点はどれくらいであったのか、自分の成績は平均点よりどれほど差があったのか、また最高点はどれくらいあったのかを教科・科目別に読みとれます。自分の結果と照らし合わせ、攻略すべき教科・科目を確認してください。

	配点	平均点	標準偏差	平均偏差値	最高点	最低点	人数
英語	200	86.2	35.7	50.0	198	0	127127
数学	200	88.2	41.2	50.0	200	0	122162
数学必須	150	65.9	33.1	50.0	150	0	122162
数学選択	50	22.5	13.2	50.0	50	0	121245
国語	200	77.9	26.9	50.0	178	0	125156
現代文	110	44.7	15.3	50.0	101	0	125156
古文	50	18.0	8.1	49.9	48	0	125156
漢文	40	15.2	9.2	50.0	40	0	125156

◆教科科目別設問別成績表

設問ごとの平均点はどれくらいであったか、自分の成績と比べ、平均点との差に注目してください。
その結果から、弱点分野を確認し、今後の学習に役立ててください。

英 語

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	86.2	35.7	198	0	127127
1	リスニング	31	17.4	5.6	31	0	127127
2	単語・イディオム	20	9.0	4.1	20	0	127127
3	文法・語法	26	11.0	5.3	26	0	127127
4	英作文（整序作文・和文英訳）	29	13.0	6.4	29	0	127127
5	長文総合Ⅰ	54	15.7	12.0	54	0	127127
6	長文総合Ⅱ	40	20.1	10.6	40	0	127127

国 語

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	77.9	26.9	178	0	125156
1	現代文「評論」の読解と内容把握	60	27.8	10.5	60	0	125156
2	現代文「小説」の読解と内容把握	50	16.9	8.1	50	0	125156
3	古文「随筆」の読解と内容把握	50	18.0	8.1	48	0	125156
4	漢文「随筆」の読解と内容把握	40	15.2	9.2	40	0	125156

数 学 *数学の①・②・③は、必須問題です。④・⑤・⑥は、選択問題です。

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	88.2	41.2	200	0	122162
1	数学Ⅰ・A・Ⅱ小問集合	40	28.0	11.2	40	0	122162
2	2次関数，図形と方程式	60	25.4	14.8	60	0	122162
3	式と証明，複素数と方程式	50	12.4	10.9	50	0	122162
4	確率	50	24.8	13.9	50	0	69868
5	三角関数	50	22.4	11.6	50	0	31448
6	数列	50	14.6	9.0	50	0	19929

小問（単位問）別平均点＜英 語＞

英 語		受験者数： 127127 人													
設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力						
1	リスニング	31	17.4	1. A. 1	2	1.9	○								
				1. A. 2(a)	2	1.8	○								
				1. A. 2(b)	2	0.4	○								
				1. A. 3(a)	2	1.9	○								
				1. A. 3(b)	2	1.9	○								
				1. B. 1	3	0.4			○						
				1. B. 2	3	0.7			○						
				1. B. 3	3	0.9			○						
				1. C. 1	4	2.9			○						
				1. C. 2	4	2.1			○						
				1. C. 3	4	2.4			○						
				2	単語・イディオム	20	9.0	2. A. 1	2	0.8	○				
								2. A. 2	2	0.8	○				
2. A. 3	2	1.9	○												
2. A. 4	2	0.7	○												
2. A. 5	2	0.8	○												
2. A. 6	2	0.3	○												
2. B. 1	2	1.0	○												
2. B. 2	2	0.7	○												
2. B. 3	2	0.7	○												
2. B. 4	2	1.4	○												
3	文法・語法	26	11.0					3. A. 1	2	1.0	○				
								3. A. 2	2	0.4	○				
								3. A. 3	2	1.1	○				
				3. A. 4	2	0.9	○								
				3. A. 5	2	0.7	○								
				3. A. 6	2	0.9	○								
				3. A. 7	2	0.7	○								
				3. A. 8	2	1.0	○								
				3. A. 9	2	1.0	○								
				3. A. 10	2	1.7	○								
				3. B. 1	3	0.8	○								
				3. B. 2	3	0.8	○								
				4	英作文（整序作文・和文英訳）	29	13.0	4. A. 1	4	3.5	○				
4. A. 2	4	2.1	○												
4. A. 3	4	0.9	○												
4. A. 4	4	1.4	○												
4. B. 1	5	2.6	○												
4. B. 2	8	2.6	○												
5	長文総合 I	54	15.7					5. 問1	3	1.0			○		
								5. 問2	12	2.7	○				
				5. 問3	3	1.5			○						
				5. 問4	3	0.2			○						
				5. 問5	8	2.1	○								
				5. 問6	10	2.1			○						
				5. 問7	4	3.0			○						
				5. 問8(A)	5	1.6				○					
5. 問8(B)	6	1.4				○									
6	長文総合 II	40	20.1	6. 問1. 1	6	2.3			○						
				6. 問1. 2	6	2.5			○						
				6. 問1. 3	6	2.9			○						
				6. 問1. 4	6	2.8			○						
				6. 問1. 5	6	3.8			○						
				6. 問2	10	5.7			○						

小問（単位問）別平均点＜数 学＞

数 学		受験者数： 122162 人													
設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力						
1	数学 I・A・II 小問集合	40	28.0	1(1)	5	3.7	○								
				1(2)	5	3.9	○								
				1(3)	5	3.7	○								
				1(4)	5	3.8	○								
				1(5)ア	5	3.1	○								
				1(5)イ	5	2.6	○								
				1(6)ウ	5	4.2	○								
				1(6)エ	5	3.1	○								
				2	2次関数、図形と方程式	60	25.4	21	8	6.6	○				
								2[1](2)	8	5.4	○				
								2[1](3)	14	3.4			○		
2[2](1)	8	5.9	○												
22	10	3.4	○												
3	式と証明、複素数と方程式	50	12.4	2[2](3)	12	0.8			○						
				3(1)	8	4.8	○								
				3(2)	12	5.6	○								
				3(3)	14	1.9			○						
4	確率	50	24.8	3(4)	16	0.1			○	○					
				4(1)	6	5.3	○								
				4(2)(i)	8	5.8	○								
				4(2)(ii)	8	5.9			○						
				4(2)(iii)	14	4.6	○								
5	三角関数	50	22.4	4(3)	14	3.1			○	○					
				5(1)	8	7.1	○								
				5(2)	8	5.6	○								
				5(3)	10	6.0			○						
				5(4)(i)	10	2.2			○						
				5(4)(ii)	14	1.4			○	○					
6	数列	50	14.6	6(1)	12	9.1	○								
				6(2)	10	3.5	○								
				6(3)(i)	8	1.8			○						
				6(3)(ii)	20	0.3			○						

小問（単位問）別平均点＜国 語＞

国 語		受験者数： 125156 人													
設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力						
1	現代文「評論」の読解と内容把握	60	27.8	1.問1.a	2	0.5	○								
				1.問1.b	2	0.3	○								
				1.問1.c	2	1.1	○								
				1.問1.d	2	0.9	○								
				1.問1.e	2	0.3	○								
				1.問2.X	4	3.0		○							
				1.問2.Y	4	1.3		○							
				1.問3	7	5.1		○							
				1.問4	7	4.1		○							
				1.問5	16	4.1					○				
				1.問6	12	7.0					○				
				2	現代文「小説」の読解と内容把握	50	16.9	2.問1.a	3	0.7	○				
								2.問1.b	3	1.3	○				
2.問1.c	3	1.1	○												
2.問2	7	4.8						○							
2.問3	6	1.6						○							
2.問4	16	2.5									○				
2.問5	6	3.0									○				
2.問6	6	1.8					○								
3	古文「随筆」の読解と内容把握	50	18.0	3.問1.a	2	0.5	○								
				3.問1.b	2	1.2	○								
				3.問1.c	2	1.3	○								
				3.問1.d	2	1.2	○								
				3.問1.e	2	1.5	○								
				3.問2.1	3	2.4	○								
				3.問2.2	2	1.7	○								
				3.問2.4	3	0.4	○								
				3.問3	12	3.3				○	○				
				3.問4	8	0.4				○	○				
				3.問5	6	1.4				○					
				3.問6	4	1.6		○							
				3.問7	2	1.1		○							
				4	漢文「随筆」の読解と内容把握	40	15.2	4.問1.ア	2	0.2	○				
4.問1.イ	2	0.3	○												
4.問1.ウ	2	0.4	○												
4.問2	5	3.4	○												
4.問3	10	4.9								○	○				
4.問4	7	1.4						○							
4.問5	6	2.2								○					
4.問6	6	2.4		○											

学習対策

ここでは教科・科目ごとにポイントとなる問題を取り上げ、その問題の概要と正解を導くために必要な力についてコメントをしています。今後の学習のアドバイス等も記してありますので、自分が受験した教科・科目を確認して復習に役立てましょう。

なお設問別アドバイス、採点基準、学力要素一覧表は、模試ナビ(河合塾 全統模試学習ナビゲーター)に掲載していますので、確認してください。

英語

英文の文構造を正しく理解しよう！

第3問 文法・語法

関係代名詞と関係副詞の使い分けと省略を確認する問題。

文法問題では、品詞の役割を理解することに加え、問題文中の英文の文意だけでなく、文構造を正確に把握することが重要である。文法A7. で確認しよう。

7. The hotel () last summer is now closed for rebuilding.

- ア. we stayed イ. we stayed at
ウ. where we stayed at エ. which we stayed

The hotel is now closed for rebuilding. は「ホテルは建て直しのために現在休業している」という意味。The hotelに後続する() last summer は「私たちがこの前の夏に泊まった」という意味だと考えられる。イ. we stayed at を入れると目的格の関係代名詞が省略された文法的に正しい英文になるが、ウ. where we stayed at を選択した誤答が非常に多かった。関係副詞に続く節は名詞要素が揃った完全文であることを忘れないでほしい。The hotel where we stayed at last summer では、前置詞 at の目的語が欠けた不完全文となるので文法的に成立しない。文法問題では、文意だけでなく、英文の文構造を把握することが重要である。

第5問 長文総合

英文の構造を把握してから和訳する問題。

英文の下線部和訳問題では、単語の意味を適当につなぐという作業ではなく、品詞の働きを確認した上で、文構造を把握してから和訳するということを実践してほしい。和訳問題の下線部(5)で確認しよう。

three bad years in a row may have been more than they could handle

まず three bad years in a row が主語であることを押さえない。in a row「連続した」は名詞表現 three bad years を修飾する形容詞句で、three bad years in a row は「連続した困難な3年間は」と訳出できる。

動詞にあたる may have been は may have done 「…したかもしれない」を用いた表現で、「…だったのかもしれない」と訳出できる。

次に more than they could handle の more は、ここでは may have been の補語となる名詞で、「より多くのもの」が直訳である。

したがって、more than they could handle は、「彼らに対処できるより多くのもの」が直訳となる。more が名詞の場合は、more than S V ... を「…する以上のもの」と訳すことも可能なので、文全体は「連続した困難な3年間は彼らに対処できる以上のものだったのかもしれない」と訳出できる。

〈比較級+than S can do〉を「Sが…できないほど〜」と訳出するとより自然な日本語となるので、more than they could handle は「彼らに対処できないほどのもの」と訳出してもよい。

数学

論理的に説明できる力を養おう

第2問[2] 数学Ⅱ 図形と方程式

座標平面上の円と直線に関する問題

(2)の円 C と直線 l が異なる2点で交わる条件を考える問題への対処方法は、大きく分けて2通りある。1つ目は、「(C の半径) $>$ (C の中心と l の距離)」に着目するものであり、2つ目は、 C と l の方程式を連立し、 x または y を消去して得られる2次方程式の異なる実数解の個数が2個であることに着目するものである。いずれでも解答できるようにしておくことが望ましい。

(3)の三角形APQの面積が最大になるような三角形APQの形状は $\angle PAQ=90^\circ$ のときであるが、何の説明もなく言い切ってしまうのはよくない。問題のタイプにもよるが、言葉や数式による説明なしではまったく評価されない場合もある。本問では底辺と高さを持ち出して図形的に説明するとか、角度または長さを変数にとって面積をその関数として表して説明するとか、色々な説明の仕方がある。数学の解答において、何かを主張する際は何らかの数学的根拠を記すことを日頃から意識してほしい。

第3問 数学Ⅱ 式と証明・複素数と方程式

3次方程式の解に関する問題

3次方程式 $f(x)=0$ は $f(x)$ を因数定理((1)がそれを示唆)などを用いて、少なくとも1次式と2次式の積に分解して考えるのが常道である。(2)、(3)はこの点をわきまえていれば十分に解ける問題だと思うが、特に(3)のように係数に文字が入ると因数分解が出来なくなってしまう答案が少なくなかった。ただ、 $x^2-2x+k^2-2=0$ が $x=k$ を解にもたない条件も考える必要がある点に気がつくのはやや難しかったかもしれない。

一方、(4)は見慣れない問題で難しく感じたかもしれないが、実はそうでもない。(3)の結果より、 k のとり得る値の範囲は0から $\sqrt{3}$ の間に取まっているのだから、 $[k]$ のとり得る値は0と1しかない。また、 $1-\sqrt{3-k^2}$ は1より小さく、 $1+\sqrt{3-k^2}$ は1より大きいことも直ちにわかるから、条件(♯)が成り立つためには、 $[1-\sqrt{3-k^2}]=0$ となるか $[1+\sqrt{3-k^2}]=1$ となるしかないわけである。

国語

【現代文】

問五

思考力や記述力を問う問題

設問で求められている「このような困難」については、指示語を手がかりに傍線部の前の文脈を追っていくという方針はすぐに立てられたのではないと思われる。ただし問題は、その「困難」が、直前に記されている「リベラリズム」が直面したものだけではなく、さらに文脈をさかのぼって「保守主義」が突き当たったものについても言われているということを把握することだ。「保守主義」に関しては、伝統や歴史の連続性が必要なのに、近代日本においては「明治維新」と「第二次世界大戦の敗戦」の二度の「断絶」によって「困難」が生じたと指摘する。「リベラリズム」においては、まず政治勢力として弱体だったことと、「自由」をめぐる合意が作られなかったことを指摘する。字数の許す限り、過不足なくポイントを盛りこむ努力をしてほしい。

問四

思考力や記述力を問う問題

「気持ち」を問う問題、すなわち心情問題は、小説や随筆で頻出の問題形式であり、十分にトレーニングを積んでおくことが必要だ。心情問題のポイントとして、①状況や場面に注意する、②人間関係に注意する、③行動や表情やセリフに注意するといったことは覚えておきたい。この設問は心情問題としてはかなり難しい部類に入るが、「わかるようでわかんない」という「咲ちゃん」のセリフから、彼女の心情の中心には「言われていることが理解できず当惑している」ということがあるとつかみたい。では、彼女はどのような「状況」で、誰にどのようなことを言われたのか。そうしたポイントを組み立てつつ、最終的に「咲ちゃん」の「当惑している」という「気持ち」が、採点者に納得のいくものとして説明されていればよい。うまく書けなかった人は、復習の一環として、もう一度答案を書き直してみよう。

【古文】

問二・問四

助動詞をふまえた訳出や説明と慣用句の理解を問う問題

第一回と同様、現代語訳は基礎的な知識の理解としてもっとも直接的で重要な設問である。今回は、第一回よりやや難易度をあげた語句・語法を問うた。第一回よりはよくできていた印象だが、傍線部4「むなしくなりぬ」で、助動詞「ぬ」(完了)の理解はできていたものの慣用句「むなしくなる」の意味が訳出されていない答案が多かった。また、問四の説明問題では、傍線部に助動詞「まし」がためらいの意志を表すという重要な語法を含んでいた。「まし」は、反実仮想が代表的な意味だが、それとともにためらいの意志も入試問題で出題される覚えておかなければならない重要な用法である。今回、この部分を正確におさえていた答案と、そうでないものとは明確に得点差として現れた。すべての助動詞について、高2のこの時期には完全に習熟しておく必要がある。こういった基礎的な知識を確実にしておかなければ、受験期にとりくむ応用的な読解や説明問題への対応がおぼつかないものと心得ておく必要がある。

【漢文】

問四

基本語と重要表現に基づき意味を考える力を問う問題

傍線部を直訳すると「走り去ることができた」となるが、設問に「必要な言葉を補ってわかりやすく」とあるので、主語や目的語、動作の対象などを文脈から補う必要がある。兄弟ともに医者であったが、治療を求める者は弟の方ばかりに行き、兄の方へは行かなかったので、弟は裕福になり、兄は落ちぶれた(ここまでは問三の解答の根拠)。落ちぶれた兄は弟を妬んで、弟の外出を待って危害を加えようと企み、兄は弟が乗る舟にあらかじめ隠れて、水上で弟を襲うが、船頭が舟を岸に着けたので、「走り去ることができた」という文脈である。「弟は」と主語を、「兄の襲撃から」と動作の対象を補う必要がある。また「得+動詞」の形では、「得」を「～できる」と訳さなければならない点にも注意すること。

「採点に関する問い合わせ」について

このたびは、第2回全統高2模試を受験していただきありがとうございました。
 答案・個人成績表を見直した結果、今回の採点や得点に関して疑問や質問がある場合は、
 以下の手順に従ってお問い合わせください。

①送付先
 右の問い合わせ用紙に記入し、13ページに記載されている河合塾の営業部あてに、郵送にてお送りください。なお、河合塾生(塾生として申し込んだ高校グリーンコース生)の方は、所属校舎へご提出ください。

②問い合わせ用紙の記入方法
 太枠内をすべて記入してください。問い合わせ内容は、記入例を参考に以下の事項を記入してください。

- 科目名、大問・設問番号
 - 内容に該当する項目(A～Eの記号を選択)
 - 問い合わせ内容記入欄に、具体的な内容を補足
- * 科目や項目が複数ある場合は、それぞれについて問題番号と内容を記入してください。
 * なお、志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

③提出していただくもの
 1. 「採点に関する問い合わせ用紙」
 (提出前に必要事項にもれがないか、内容が具体的に記入してあるかを再度確認してください)。
 2. 「個人成績表」
 (コピーでもかまいません)。
 * ただし、Web返却対象者は必要ありません。

上記2点を同封し、封筒の表に朱書きにて「第2回全統高2模試 採点に関する問い合わせ用紙在中」と明記してお送りください。

* 答案については提出不要です。ただし、解答用紙番号をもとに河合塾にて答案データ照合を行いますので、お問い合わせ箇所と内容について、具体的に記入してください。
 (不明点がある場合、確認のためにご連絡する場合があります)。
 なお、お問い合わせ箇所をより正確に指摘するため、答案(コピー)に明示し、添付されてもかまいません。

④送付締切日
 10月8日(火)到着分まで受け付けいたします。

⑤返送日
 回答は、10月30日(水)頃発送の予定です。

【個人情報の取り扱いについて】
 1. 問い合わせ用紙に記入された個人情報は厳重に取り扱い、適正な個人情報の管理を実施します。
 2. 利用目的 ・成績処理および成績返却
 ・個人を特定できない方法による統計資料の作成

「採点に関する問い合わせ用紙」の記入・提出方法についてご不明な点は模試受付センターへお問い合わせください。

*河合塾生(塾生として申し込んだ高校グリーンコース生)の方は、所属校舎にお問い合わせください。

模試受付センター(12:00～19:30 日曜、祝日および12/31～1/3は受付を行いません) 0120-977-558
 *模試受付センターでは、正確な応対と対応品質向上のため、通話内容を録音させていただいております。

2024年度 第2回全統高2模試 採点に関する問い合わせ用紙

*太枠内をすべてご記入ください。 提出日 月 日

フリガナ氏名					受験会場名				
受験番号					個人成績表の解答用紙番号				—
高校名					クラス名			クラス番号	
住所(連絡先)	〒	—	※マンション名、部屋番号まで記入してください。						
電話番号	()	—	携帯電話番号	()	—	方			

*お問い合わせの該当箇所・内容がわかるように、詳細に記入してください。

科目名	大問	設問番号	項目
(例) 数学 口	[5]	[2]	B

←該当する項目(A～E)を左に記入してください。
 A: 正答が×になっている。
 B: 部分点が正しく与えられていない。
 C: 採点されていない箇所がある。
 D: 成績表の得点が、答案と異なる。
 E: その他(下記に具体的に記入してください)。
 *志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

【問い合わせ内容記入欄】*上の表に対する補足説明等をできるだけ詳しく記入してください。
 (例) 数学 Pの座標が(6, 6)にある確率の説明箇所の部分点が与えられていない。

〔回答欄〕

回答者

受付日	受付者	返却日	返却者

お問い合わせ先一覧

■模試について

- ①個人でお申し込みの方 河合塾模試受付センター 0120-977-558
②学校を通じてお申し込みの方 河合塾模試受付センター 0120-717-558
③河合塾生の方 [高校グリーンコース生専用フリーダイヤル] 0120-751-577

*河合塾模試受付センター/高校グリーンコース生専用フリーダイヤル(12:00~19:30 日曜、祝日および12/31~1/3は受付を行いません。)

■採点に関する問い合わせ用紙の記入・提出方法について

- ①河合塾生の方 所属校舎
②河合塾生以外の方 河合塾模試受付センター 0120-977-558
www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/



■採点に関する問い合わせ用紙の送付先 受付時間 9:00~17:00 (土日祝休み)

- 北海道営業 〒060-0809 札幌市北区北9条西3-3 (河合塾札幌校内) TEL(011)708-8584
【担当地区:北海道】
- 東北営業 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-6-27 (河合塾仙台校内) TEL(022)215-7581
【担当地区:青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島】
- 関東営業 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-67-2 (河合塾大宮校内) TEL(048)647-9581
【担当地区:茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟・富山・長野】
- 首都圏営業 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-2 四谷グローバルスタディスクエア6階 TEL(03)6811-5532
【担当地区:千葉・東京・神奈川・山梨】
- 中部営業 〒464-8610 名古屋市千種区今池2-1-10 (河合塾千種校内) TEL(052)735-1511
【担当地区:岐阜・静岡・愛知・三重】
- 近畿営業 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-13-1 TEL(06)6372-5731
【担当地区:石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・岡山・徳島・香川・高知】
- 中四国営業 〒732-0057 広島市東区二葉の里1-1-50 (河合塾二葉の里オフィス2階) TEL(082)264-4581
【担当地区:島根・広島・山口・愛媛】
- 九州営業 〒810-8619 福岡市中央区渡辺通4-2-11 (河合塾福岡校内) TEL(092)714-5711
【担当地区:福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄】